

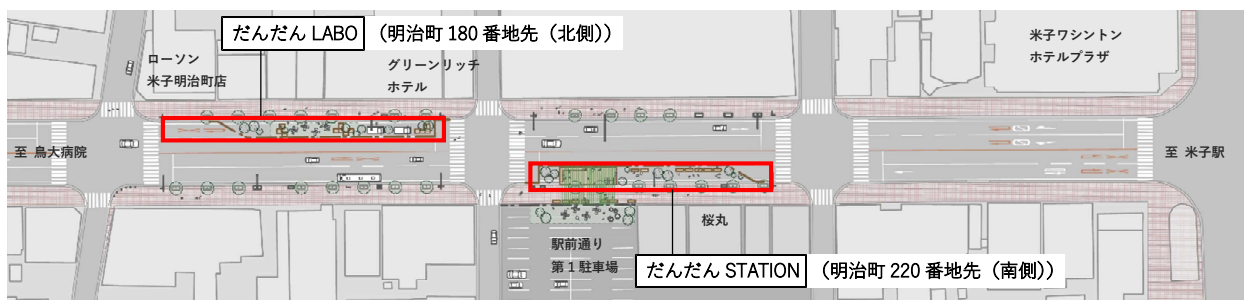
米子市 駅前通り周辺公共空間利活用に関する実証実験 企画概要

1. 実証実験の目的

米子市の推進する「歩いて楽しいまちづくり」の実現に向けて、駅前通りの車線減少による歩行空間の拡幅と利活用の可能性、自動車交通への影響等を調査し、今後の道路空間再構成の可能性やあり方を検証する。

2. 実証実験の概要

名称	駅前だんだんストリート（仮称） ※現在、検討中
実施期間	2024 年 11 月 8 日（金）17～21 時 2024 年 11 月 9 日（土）10～21 時 2024 年 11 月 10 日（日）10～21 時 車線規制：11 月 8 日（金）9 時～11 日（月）12 時（什器の設置・撤去含む） ※道路管理者・交通管理者との協議による
実施場所	駅前通り（明治町 220 番地先（南側）+ 180 番地先（北側）） ※駅前通り第 1 駐車場等の周辺施設との連携は要協議



3. 実証実験の実施事項

①居心地のよい滞留空間の創出

- ・デッキにより歩車道をフラットに繋ぎ（南側のみ）、歩道が拡幅した将来の風景を先取りすることに加えて、植栽や滞在型ファニチャーとの組合せにより、居心地よく緑豊かな景観を創出する。

②滞在型・参加型プログラムによる賑わい創出

- ・日中はワークショップや軽食・物販、夕方以降は沿道とも連携した企画を実施するなど、商工会議所等とも協議しながらマーケット活用を試行し、駅前通りの活用可能性を検証する。

③効果検証のための調査

- ・車線減少による交通影響に加えて、滞留空間の行動実態調査や各関係者へのアンケート調査を実施し、歩道活用の仕組みづくりやハード的な改良時の留意点、エリア全体での取り組みなど幅広い視点から検証を行う。

④沿線や地域の積極的な巻き込み

- ・実証実験の継続や将来に向けた議論、活動へとつなげるため、広報や調査、什器準備などプログラム全体にわたって地域との連携を企画し、多様な関係者や市民の巻き込みを実現する。

【実証実験の取組イメージ】

